

# 海外事業戦略、および製品戦略について

国際事業部

1

## 市場動向

- ・ 透析市場環境の変化

2

## 戦略と取り組み

- ・ 地域戦略×iMEP
- ・ コスト削減施策

3

## 中長期の将来像

- ・ 中期計画の進捗
- ・ フリーキャッシュフローの創出

4

## 今後の戦略、取り組み

- ・ 製品戦略

# 1. 市場動向

透析患者数とダイアライザ需要の拡大

# 透析市場を取り巻く環境

競合プレイヤーの変化、市場環境に応じた**地域戦略**を展開しております。

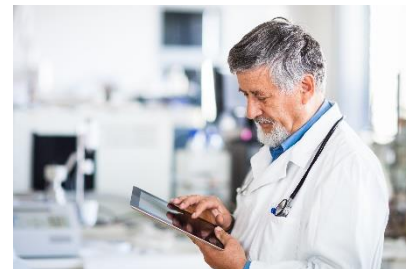


## 付加価値

高性能ダイアライザ・臨床価値でプレミアム化

治療価値の可視化 (NephroFlow)  
治療の質、業務効率↑

世界透析患者数は年平均**+6.1%**で増加



## 量

ボリュームゾーンの獲得、(入札・広域カバーで**数量確保**)



## 実行

生産自動化による原価低減/品質向上/  
コンプライアンス強化

Make it happen!

## 2. 戦略と取り組み

地域戦略、コスト削減施策

# 地域戦略

各地域特性に応じた**地域戦略**の実行

## 欧州

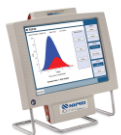
iMEP活用/技術営業継続による**高付加価値**製品拡販  
次世代透析装置開発

## インド

モバイルiMEP展開  
NephroFlow



※移動iMEP(インド)



## 中国

透析装置の**国産化**  
ニューノーマル (CDDS)



工場

11 ヶ国  
18 工場

販売

58 ヶ国  
164 拠点

## 米大陸

高性能ダイアライザ  
HDF透析装置  
ノースカロライナ州新工場



## アジア

シングルユース化推進  
安全製品の普及

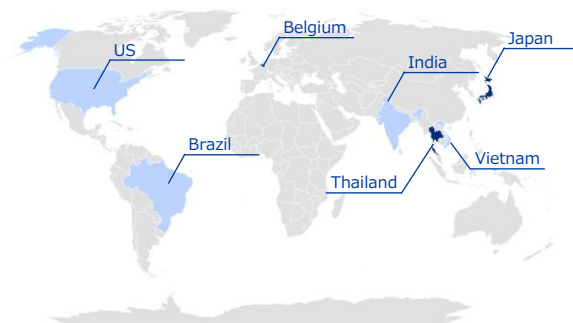


## 【課題】

進化する**医療技術、知識**の取得 / **チーム医療**の研修 / **リスキング**  
これらの機会が医療現場で**不足**している

## 【ニプロの策】

**iMEPでの医療研修**による、各地域医療発展への貢献



## 稼働中

## 準備中



日本  
iMEP本部



ベルギー  
メレヘン



タイ  
バンコク



ベトナム



インド



米国



※移動iMEP(インド)

14年の開設以来 のべ**16万人以上**が利用

# サプライチェーン全体を意識したコスト削減



需要予測



在庫



生産



配送



顧客



## 1. PSI推進による需給分析強化

Product Sales Inventory



物流最適化による工数・BO率逡減、余剰在庫減少

2. 供給能力の強化・原価の低減  
(全自動化による省人化/地産地消強化推進)

3. 製造工程の標準化  
(品番集約/包材/仕様/工程/品質基準)



### 3. 中長期の将来像

中期計画の進捗、フリーキャッシュフロー、長期ビジョン

# フリーキャッシュフローの創出

自走型の  
資金循環

1

**税引後EBITDA** ※(売上高-製造原価-販管費) × (1-実効税率)

**金利・為替の影響**  
営業外損益変動リスクの移転・低減



2

**運転資本削減** ※(在庫) + (債権) - (債務)

**PSIマネジメント強化、地産地消**によるリードタイムの圧縮  
**売掛金、在庫**の回転期間短縮

持続的な  
成長戦略投資

3

**投資** ※(新規設備投資) - (減価償却費)

**資本コスト**を意識した経営推進 (全社的ROIC経営の一環)

# 中長期成長ビジョン

## 既存品の拡大とともに、 新たな柱を育成

### 確固たる販売基盤

販売

58ヶ国  
164拠点

工場

11ヶ国  
18工場

研修

19ヶ国  
26拠点



### ニューノーマル

日本国内の医療で活躍する様々な製品について、積極的に海外市場投入を目指す

医薬 / 再生 / 感染症対策領域

### 透析以外の領域育成

デジタル関連製品の積極的普及

安全関連製品の販売強化

ニューノーマル

透析以外

主に透析関連

FY1990 FY1995 FY2000 FY2005 FY2010 FY2015 FY2020 FY2025 FY2030 FY2035 FY2040

## 4. 今後の戦略、取り組み

透析製品戦略

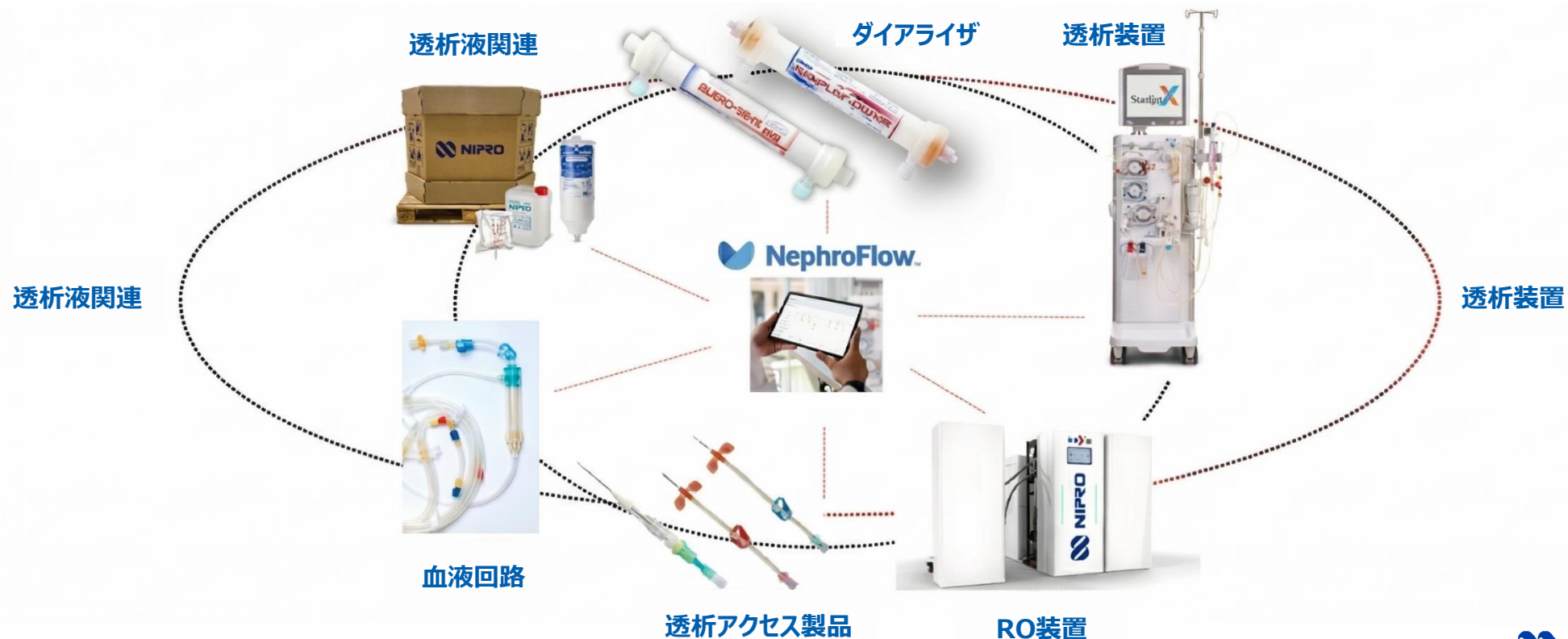
# 透析製品戦略

ダイアライザ  
透析アクセス



# 日本の透析技術を世界へ

## 透析治療をトータルでサポート 日本の優れた透析治療と機器を世界へ展開

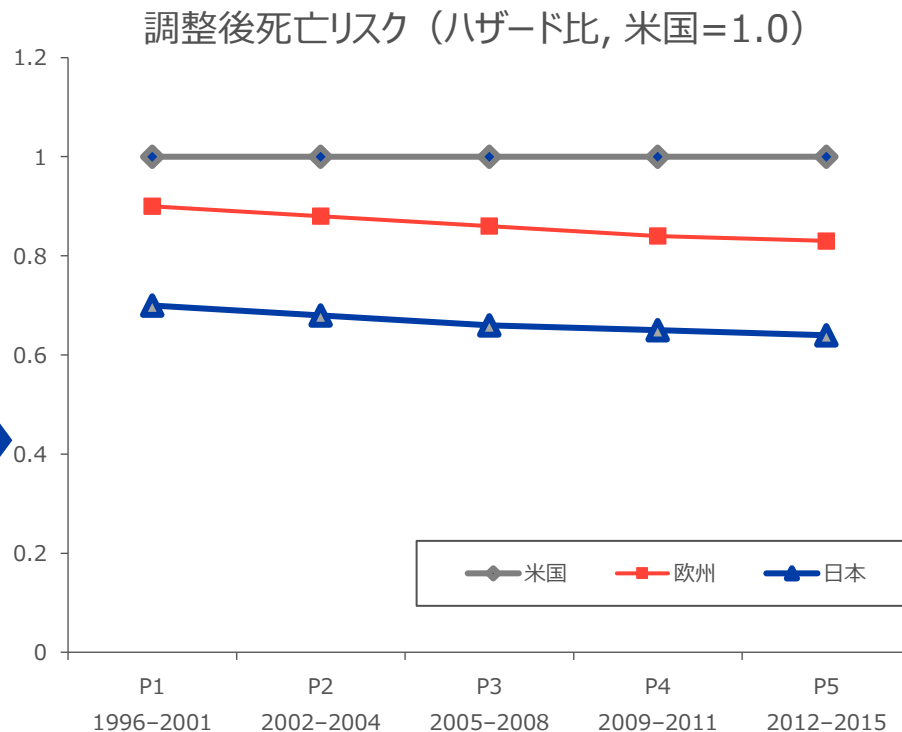


## 日本透析患者の高い生命予後

### 日本における透析治療の特徴

#### 日本の良好な予後に関連する主要因 (DOPPS等より)

- 高い自己血管アクセスの使用率。
- 長時間透析および十分な透析量。
- 透析治療の質の高さ。



※出典：Dialysis Outcomes and practice Patterns Study (DOPPS)

# 透析製品戦略

ダイアライザ



# 日本の透析技術を世界へ

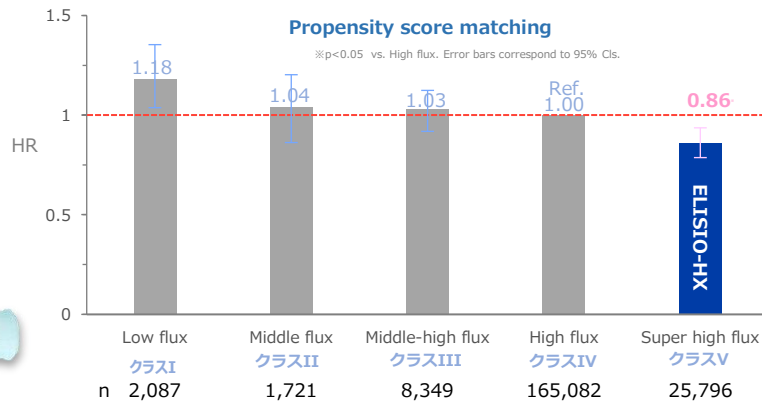
トータルコストを削減し、より安全な透析治療、患者QOL向上へ

## スーパーハイフラックス ELISIO-HX

### スーパーハイフラックスダイライザ

- High Fluxよりさらに高い尿毒素の除去性能
- High Fluxより14%低い死亡リスク\*
- 諸症状を改善し患者QOLを改善

ダイライザ除去性能の違いによる死亡リスク



※Abe M et al. Nature. 2021.

本年よりFDA認可アメリカでの販売開始



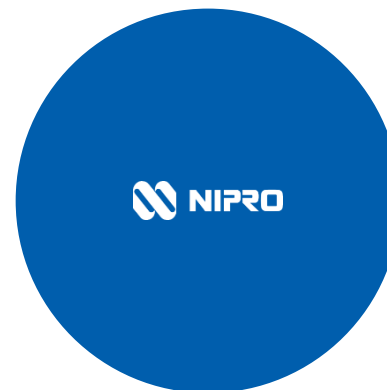
## アシンメトリックトリアセート(ATA)膜

### 世界で唯一無二の半合成高分子膜

- 自然由来の膜による優れた生体適合性（親水化剤不使用でも優れた抗凝固性能）により患者負担軽減
- 膜材質由来のアレルギー症状の発生を低減し安全な治療を実現

CTA/ATA膜は他社にはない透析膜

CTA/ATA膜  
(半合成高分子膜、自然由来の膜材質)



合成高分子膜



A社 B社 C社  
D社 E社 F社  
G社 H社 I社  
J社 K社 L社





# ELISIOダイアライザ 性能別 ラインナップ



※Mild High-Flux means high flux dialyzer which will show smaller amount of albumin losses compared to ELISIO-H.

# 欧米と日本におけるダイアライザ分類の相違



項目		Low-flux	Mid-flux	High-flux	
限外濾過率UF	mL/mmHg/h	<20	20-30	30-50	
	尿素	Kd(mL/min)	<180	180-200	200-220
		KoA(mL/min)	<500	500-600	600-700
β2MG	eKt/V	<1.2	1.2-1.4	1.4-1.6	
	β2MG	Kd(mL/min)	<b>&lt;20</b>	<b>20-40</b>	<b>40-60</b>
		KoA(mL/min)	<30	30-50	50-100
アルブミン漏出量	g/session	0	0	<2	



日本独自の高度な基準 : Super-high-flux



日本における分類 (~2013年)		I	II	III	IV	V
β2MG クリアランス	mL/min	<10	10-30	30-50	50-70	<b>≥70</b>

※QB = 200mL/min、膜面積1.5㎡

出典 : 阿部雅紀「日本透析医学会第63回学術集会」

# 日本のダイアライザ分類 (2016年～)

型分類 (2016以前)	I	II	III	IV	V
β <sub>2</sub> -MGクリアランス (mL/min)	<10	10-30	30-50	50-70	≥70
分類	Low	High	High	High	Super high



型分類 (2016以前)	Type I		Type II	
	I a型	I b型	II a型	II b型
尿素クリアランス (mL/min)	≥125		≥185	
β <sub>2</sub> -MGクリアランス (mL/min)	<70		≥70	
アルブミンふるい係数 (SC)	<0.03	≥0.03	<0.03	≥0.03
Classification	分類			

アルブミンふるい係数 (SC) の追加 (2016年より項目追加) +

※QB = 200mL/min、膜面積1.5m<sup>2</sup>

出典：阿部雅紀「日本透析医学会第63回学術集会」

# 透析製品戦略

透析アクセス





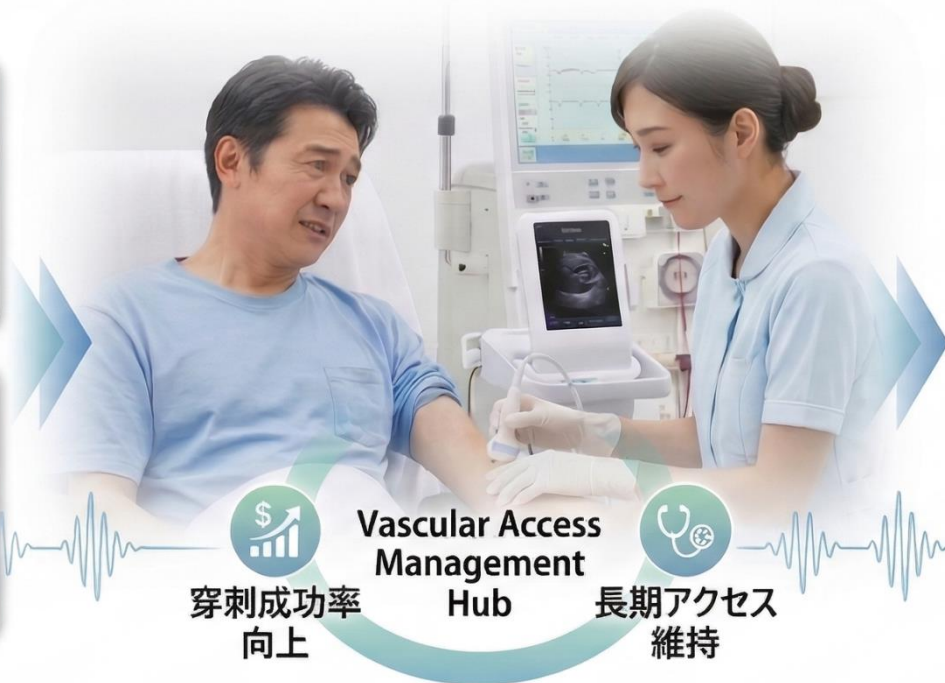
# 透析医療の『穿刺ストレス』解消

患者のQOL向上と医療現場の効率化を両立するニプロ独自戦略


## 【患者様側の課題】

 高頻度な穿刺  
(年150回以上)


 穿刺痛への  
 恐怖・不安



## 【スタッフ側の課題】

 失敗不可の  
プレッシャー

 困難症例への  
対応負担

 安全・確実な  
手技の実現

穿刺成功率向上と長期アクセス維持を包括的に支援

【ニプロの強み】 穿刺成功率向上と長期アクセス維持を両立。全ステージをカバー。

# 針の実物の比較表

ワクチン接種

(外径：0.50mm)

採血

(外径：0.70mm)

輸液・輸血

(外径：1.25mm)

透析（標準）

(外径：1.60mm)

透析（大血流用）

(外径：2.10mm)



25G



22G



18G



16G



14G

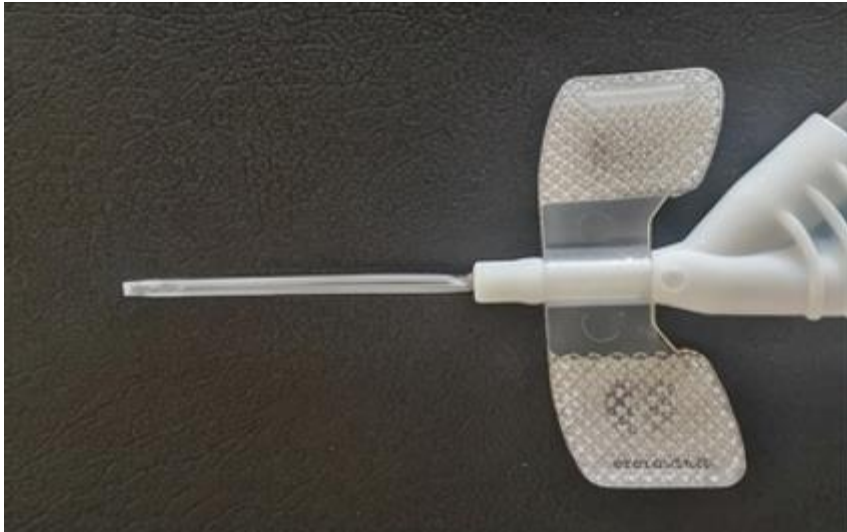
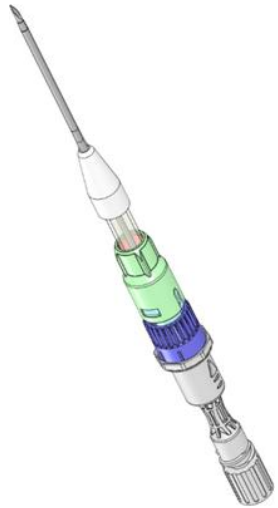


# 比較 プラスチック針 VS 金属針

## プラスチック針（留置針）

特徴

- 柔軟性
- 血管への負担少
- 長期留置向き



## 金属針

特徴

- 低コスト
- 穿刺が鋭い
- 短時間の手技



# プラスチック針の特長

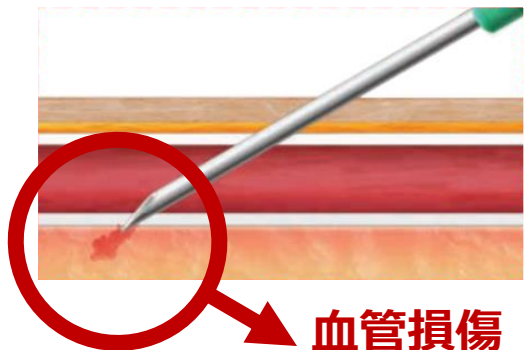
## ～血管アクセス損傷（外傷）を最小限に抑える～

金属針療法では、患者が動くと血管が損傷するリスクがあります。

プラスチック針は柔軟性があるため、治療中に損傷するリスクは低いです。



金属針  
(Current)



血管損傷（外傷）



穿刺ミス  
のリスク



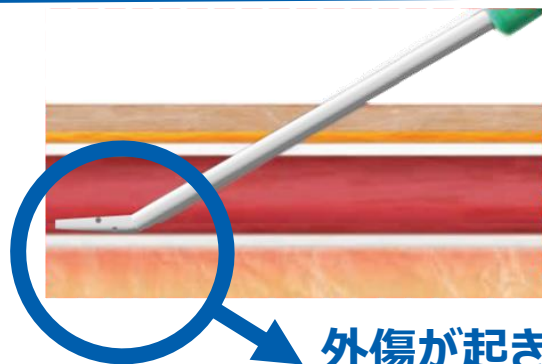
血管損傷  
リスク



止血困難



プラスチック針  
(New)



外傷が起きにくい



血管外傷  
のリスク小



患者は安全に動くことができる

# プラスチック針 新製品

**SAFETOUCH™ DIALYSIS CATH PLUS**  
*Auto Priming Hemostatic Valve Type*

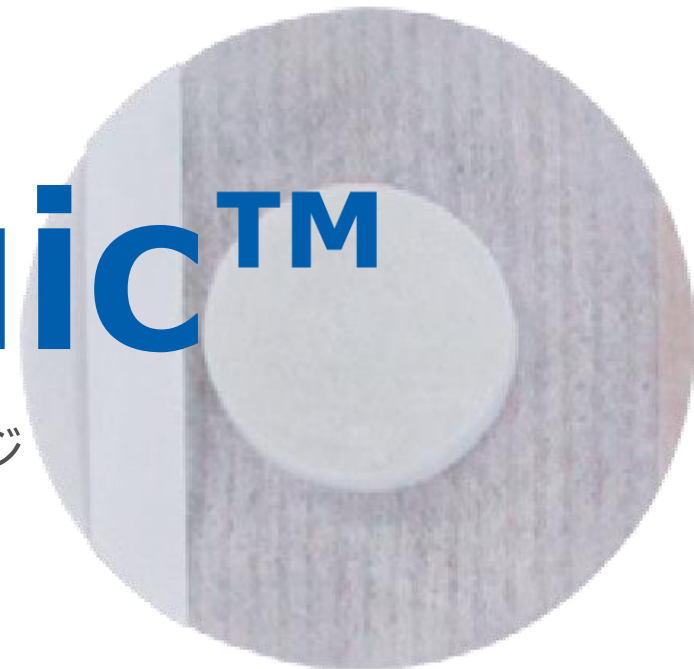
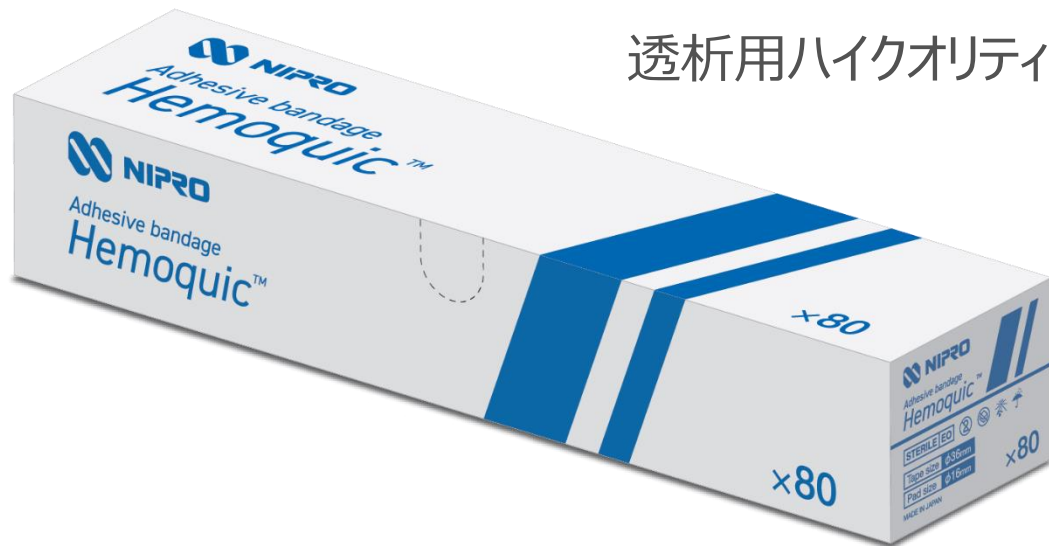
**NEW**



治療後止血の新しいアプローチ

# Hemoquic™

透析用ハイクオリティバンデージ



# 透析アクセスの進行ステージと最適デバイス

## ～透析アクセスのライフサイクル全体を支えるニプロの技術～

### ① 穿刺成功率向上

- 穿刺ミス減らす
  - ✓ ボタンホール穿刺
  - ✓ エコーガイド穿刺



- IP ECHO®
  - ✓ 穿刺成功率向上
  - ✓ 患者安心感

### ② 血管ダメージ低減

- シャント寿命を延ばす
  - ✓ ダルニードル
  - ✓ プラスチックニードル



- ✓ 穿刺抵抗低減
- ✓ 血管保護



SAFETOUCH DIALYSIS CATH PLUS™

### ③ アクセス再建

- 自己血管が使えない場合

**Vectra®**  
VASCULAR ACCESS GRAFT



- 外層：周囲組織への接着性
- 中層：構造強化
- 内層：内皮化、抗血栓性

### ④ 最終アクセス

- ✓ 血栓形成抑制
- ✓ 長期間存
- ✓ 長期透析アクセス



- ウロキナーゼコーティング

透析アクセスのライフサイクル全体を支えるニプロの技術と製品群

# NIPRO ヘルスケアプラットフォーム

医療の最前線を支えるグローバル・メディカル・テクノロジー



NIPROは医療機器・医薬品・医薬技術を統合し世界的に包括的な医療ソリューションを提供しています

## 免責事項

本資料に記載されている予測数値および将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しています。実際の業績や成果等は、今後のさまざまな要因により、本資料の記載内容と大きく異なる場合があります。

また、本資料には、開発中のものを含む製品に関する情報や、研究開発中の製品、将来の見通しに関する記載が含まれていますが、これらは現時点での情報に基づくものであり、承認取得や事業化を保証するものではありません。

本資料に含まれる医薬品・医療機器等に関する情報は、当社の企業活動について、株主・投資家の皆さまへの投資判断に資する情報提供を目的としたものです。一般の皆さまへの顧客誘引や医学的・医療的な助言、ならびに医薬品・医療機器の販売促進を目的とするものではありません。



**NIPRO**